

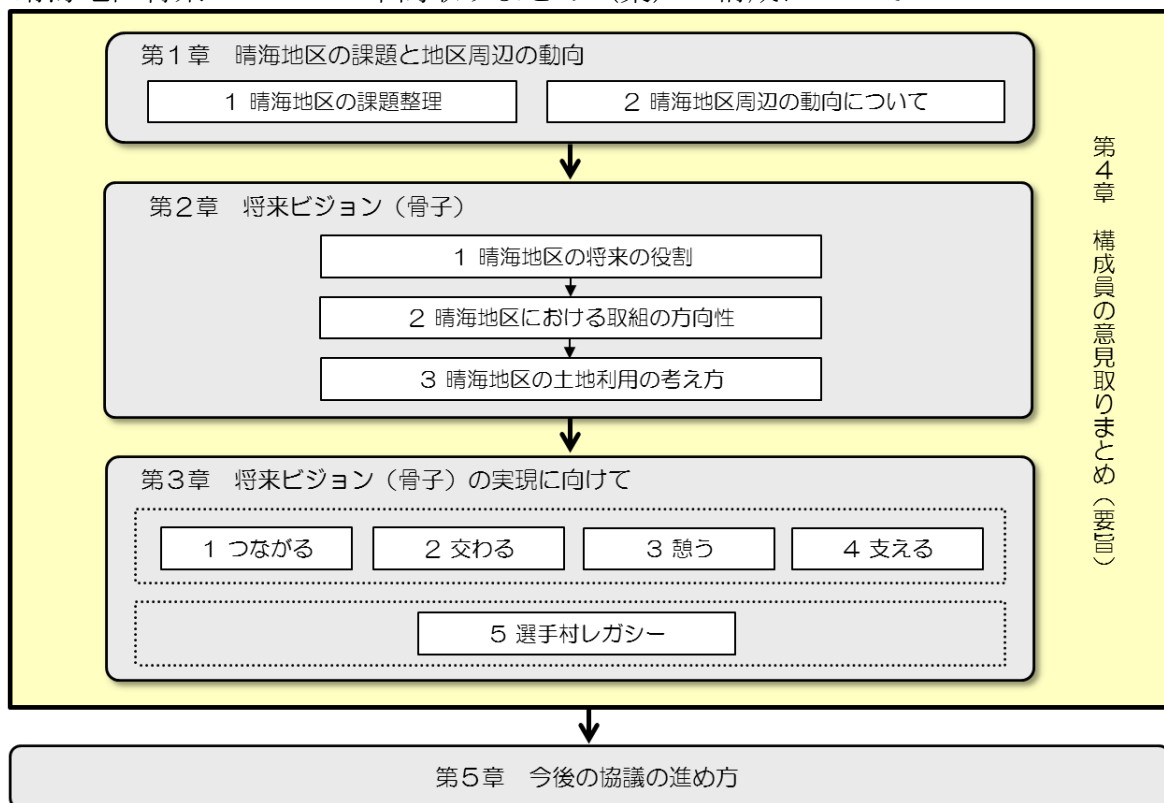
晴海地区将来ビジョン中間取りまとめ（案）について

1 開催内容

晴海地区では選手村が整備されることを契機に、大会後の魅力あるまちづくりに結びつけることを目的として、地元の方々から構成される「晴海地区将来ビジョン検討委員会」を設立し、以下のとおり計6回にわたり議論を重ね、「晴海地区将来ビジョン 中間取りまとめ」（案）を策定した。

	開催日	内 容
第1回	平成26年2月16日	委員会の運営方法及び上位計画の概要・地元要望の説明
第2回	平成26年3月9日	将来ビジョンに係る構成員の提案
第3回	平成26年3月23日	将来ビジョンに係る構成員の提案
第4回	平成26年4月6日	将来ビジョンの方向性に関する意見交換
第5回	平成26年4月20日	「晴海地区将来ビジョン 中間取りまとめ」たたき台に関する意見交換
第6回	平成26年5月18日	「晴海地区将来ビジョン 中間取りまとめ」（案）の確認

2 晴海地区将来ビジョン 中間取りまとめ（案）の構成について



3 将来ビジョン（骨子）について

都心や臨海部の国際競争力強化を目指したまちづくりの動向を踏まえた上で、晴海地区の課題である「生活・就業環境の充実・向上」「持続性のあるまちづくりの実現」「選手村レガシーを活用したまちづくり」に対応していくため『将来ビジョン（骨子）』を整理した。

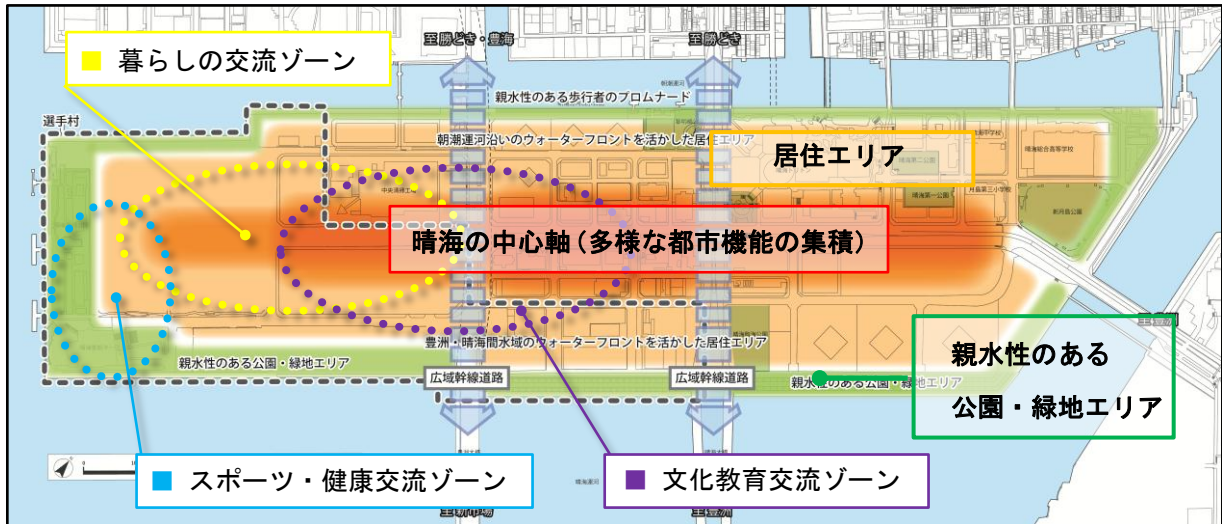
（1）将来の役割及び取組の方向性




「世界をリードする先端技術を活かし、知的創造を育む居住・滞在・憩いの空間」とし、目指すべき都市像と取組の方向性を以下のとおり整理した。




- ① **つながる** 日本橋や八重洲など国際的なビジネス拠点や銀座や築地など世界ブランドの観光拠点の都市活動とつながるまち
[取組の方向性]
 - 広域交通：BRTの整備、地下鉄新規路線の導入等
 - 文化交流：既設のホールやオリンピックレガシーなどを活用
- ② **暮らす** 幅広い世代が住みやすい、安らぎのある暮らし
[取組の方向性]
 - 住まい：多様な住まいの創出
 - 地域コミュニティ：広場や集会所の適切な誘導
- ③ **憩う** 海を眺め、緑に囲まれ、スポーツに取り組むまち
[取組の方向性]
 - みどり・オープンスペース：プロムナードの整備等
 - スポーツ・健康：選手村練習施設の活用等
- ④ **交わる** 充実した生活・就業環境による地域交流の活性化、文化交流、文化教育を通じ、国際感覚を育む環境づくり
[取組の方向性]
 - 公益施設・生活利便：教育施設整備、商業施設の誘導等
 - 文化教育：知的創造拠点、大学等の誘致
- ⑤ **支える** 先端技術を活用した地球環境や地域防災力の向上
[取組の方向性]
 - 環境：未利用エネルギーなどの利用促進等
 - 防災：防災拠点の強化等

(2) 土地利用の考え方

晴海地区の特徴を踏まえた土地利用の考え方を整理した。



 晴海の中心軸	東西の幹線道路沿いの多様な都市機能が集積するエリア
 居住エリア	中心軸の周辺は、住宅等を中心としたエリア
 親水性のある公園・緑地エリア	水辺は、公園・緑地エリアと歩行者のプロムナードとするエリア

 暮らしの交流ゾーン	選手村宿泊施設を中心に幅広い世代が住みやすい安らぎのある暮らしを図るゾーン
 スポーツ・健康交流ゾーン	海を眺め、緑に囲まれてスポーツに取り組むゾーン
 文化教育交流ゾーン	文化交流・文化教育を通じ国際交流を育むゾーン

4 将来ビジョン（骨子）の実現に向けた選手村レガシーの考え方

選手村レガシーとして、以下の取組を推進することで、晴海地区全体への波及を目指す。

- ・練習施設を活用したスポーツ活動、健康増進
- ・文化交流、文化教育を通じ、国際感覚を育む環境づくり
- ・先端技術の導入による地域環境や防災機能の向上
- ・多様な世代が暮らせる住まいづくり

5 今後の予定

- (1) 本中間取りまとめ（案）については、地元組織、晴海地区まちづくり協議会へ報告した上で、本年7月に東京都へ提出する。
- (2) 今後は、関係機関とのヒアリング等を通じて内容の精査を行い、年内を目途に最終取りまとめを行う。
- (3) 平成27年1月以降、将来ビジョンに基づき、「豊洲・晴海開発整備計画」の全体改定への反映に向けて、東京都と協議を行う。